



# 「いざなぎ 生きめやも」

岡山県高等学校  
P T A 連合会  
事務局  
〒700-0824  
岡山市北区内山下  
1-14-19  
TEL (086)  
234-1640  
FAX (086)  
234-1835

## 中村有作

岡山県高等学校 P T A 連合会会長



父が縁あって夕刊のコラムを執筆したことがあった。そのコラムを編纂し、小冊子にした時のタイトルが「いざなぎ 生きめやも」であった。当時私は、広島におり、この小冊子の存在を知ったのは、随分後のことであった。その時は、さほどこのタイトルに興味を覚えなかったが、一昨年父が逝去した時、改めてその小冊子を手にとった。これは有名なフランスの作家ポール・ヴァレリーの「海辺の墓地」の一節を堀辰雄が訳したものだそうだ。

父は確かに読書家ではあったが、時代劇物（藤沢周平等）か推理小説が多く、純文学を読んでいたという記憶はなく、意外だった。ただ、父の人生を振り返ってみると苦勞の連続だった。母子家庭、三人兄弟の長男であった父は、就職するため、昭和十九年四月津山工業学校土木科（現在の津山工業高校）に入学した。ところが、先生から強く進められ、昭和二十三年旧制津山中学校（現在の津山高校）へ編入した。就職を期待していた母と対立し、以後一切の学費をアルバイトで稼いでいた。昭和二十五年四月から男女共学となった時、下駄履き禁止となり、運動靴一つ買えず

大変困ったとのことであった。津山高校でも成績は優秀であつたらしい。ただ、お金がなかったため、大学進学を断念し、大阪市役所に就職した。自分よりも成績が悪い者が東京や京都の大学に進学していくのを横目にし、負けず嫌いの父はさぞかし悔しかったと思う。

大阪市役所で五年働き、学費等をためて岡山の大学に入学し、弁護士となった。大学在学中に食生活の乱れから肝臓を悪くし、入院したこともあった。話を詩に戻そう。堀辰雄も当時不治の病といわれた結核にかかり、闘病生活を送っていた。婚約者も結核にかかり、亡くなった。そのような体験を経て、この詩を堀は作った。

「生きめやも」については文法的に誤訳ではないかという説もあるが、「生きる」ということについて強く訴えかけているように思う。

長引く不況の下、閉塞感が漂う日本であるが、今の高校生にぜひ、読んでほしい詩である。生き方は一通りではない。与えられた現状を受け入れ、精一杯生き抜くことで、また次のステージが見えてくるのではなからうか。

この詩と、苦しかった青春時代の自分を重ね合わせ、父は共感したのだと思う。

父と、この詩について語り合えなかったことを後悔している。

風立ちぬ

いざなぎ 生きめやも

堀辰雄



## 岡山県高等学校 P T A 指導者研修会報告

平成二十三年十一月八日（火）ピュアリティまきびにおいて開催し、約百四十名が参加しました。

はじめに、県教育庁より、P T A の目的や役割、人権教育の推進についての説明がありました。



【講演】

次に、人権課題の一つである「同和問題」について正しい理解を深めていくために、自主的学習グループ「源氏螢の会」の代表向村成人氏を講師に迎え、「生きる」ということ」と題して講演していただきました。

ご自身が中学生の時、差別にあり、つらい体験をされますが、様々な人々との出会い、関わり合いを持つ中で絆を深め、人が生まれる事の意味について差別問題



【ワークショップの様子】

から深く考え、多くの人々に訴えてこられました。人として生きる事、誰かを支え、支えられているという事を考える良い機会となりました。

講演後、ワークショップを行いました。グループに分かれ、「一緒に子育てを考えてみませんか」をテーマに「子どもの携帯をどう考える？」など様々な角度から話し合いました。

その後、各 P T A 活動を紹介し研修を終了しました。

どのグループも活発に意見を交わし、情報交換では、他校の活動を熱心に聞き入る姿に、参加者皆様の向上心の高さに大変関心いたしました。



### 岡山県幼・小・中・高 P T A 連合会連絡協議会 第三十回 研修大会

#### 【テーマ】

「心豊かで生きる力を持つ子どもを育てよう」

#### 【期日】

平成二十四年  
一月二十六日(木)

#### 【場所】

岡山シンフォニーホール

#### 【趣旨】

県内の幼・小・中・高 P T A 関係者が一堂に会し、新しい時代を拓く。心豊かで生きる力をもつ子どもを育成するため、子どもの成長・発達に即した家庭教育の在り方について研修を深め、これからの P T A 活動の一層の発展を図る。

#### 【内容】

岡山県下の幼稚園から高等学校までの保護者及び教育関係者約二千人が一堂に会し、研修大会を開催した。石井正弘県知事をはじめ小野泰弘県議会副議長、竹井千庫教育長ら多数のご来賓にご臨席いただき開会した。

#### ◆幼稚園・小中学校・高等学校の活動発表◆

はじめに、「世界一の自動車製作プロジェクト」



【おかやま山陽高校による発表】

中学校の生徒による発表があった。真備中学校の生徒会が中心になり、地域の方の暖かい支援を頂ながらボランティア活動に取り組み様子や、地域・学校・家庭の三者が協力する事で生徒の心を豊かにしていく様子を発表した。

続いて、「心ひとつに、和・輪・環」友達と一緒にヤレソランソラン楽しいよ」と題し、瀬戸内市立今城幼稚園の園児による発表があった。年長児による和太鼓にあわせ、年中年少児が鳴子を奏で心ひとつになしながら「よさこいソラン」をおどりました。子ども達の元気で可愛らしい姿に、心和まされました。

#### ◆アトラクション◆

「吉備の国から……一期一会」と題し、備中温羅太鼓による演奏が行われた。正面から太鼓と向かい合い一打一打に心を込めて打つ姿に参加者は魅せられました。

#### ◆講演◆

「本気になればすべてが変わる」

#### 【講師】

松岡 修造 氏

日本を代表するトップテニスプレーヤーとして活躍



【松岡修造氏による講演】

した元プロテニスプレーヤーで、現在は世界を目指すトップジュニアの指導など後進の育成に尽力する一方、メディアでも幅広く活躍されている松岡修造氏を講師に迎えご講演頂きました。

小学生の時の海外遠征や、プロとしての活躍を振り返りながら、個性がある人は基本が出来ている。そのためには正しく反復することが必要であると話し、全豪オープンでベストエイトに進出した錦織圭選手を指導した経験を紹介しながら、世界で活躍する子どもを育てるためには、どんな状況でも切り抜けていく力を持つことが大切である。そのためには自分で考え、行動していく力を育てていく必要がある。とステージを狭く感じさせる程、動きながら熱く語ってくださいました。

## 平成24年度の予定

### 第54回中国・四国地区高等学校 P T A 連合会大会徳島大会

日時：7月13日(金)  
場所：アスティ徳島(徳島市)  
行程：岡山駅からバスを予定



### 岡山県高等学校 P T A 連合会・安全互助会 総会

日時：平成24年6月21日(木)  
場所：ピュアリティまきび

### 第62回全国高等学校 P T A 連合会大会和歌山大会

日時：8月23日(木)・24日(金)  
場所：和歌山ビッグホール(和歌山市)



### 【優良 P T A 文部科学大臣表彰受賞】 岡山県立倉敷工業高等学校

昨年十一月十八日文部科学省にて表彰式が行われ倉敷工業高等学校 P T A が受賞されました。



\* ホームページを3月からリニューアルします。ご利用ください。 \*